都会の喧騒から一歩離れた、緑豊かな文教のまち・国立。
ここは日本で４番目に小さな市でありながら、大きな創造性を秘めたまち。

Kunitachi Art Centerは、この小さなまちの隅々までアートの息吹を吹き込むアートイベントです。
国立市を中心として北は国分寺市、西は立川市まで広がる13の展示会場
それぞれが結びついて線となり、このエリアの新たな魅力を映し出す鏡になります。

普段は足を踏み入れない場所で、思いがけない出会いと対話が生まれる。
アーティストの創作の現場に立ち会い、作品が生まれる瞬間の息遣いを感じ取る。

会期中、まちは人々の好奇心と想像力で溢れる特別なミュージアムに変貌します。

アートを通じてまちと人をつなぎ、小さなまちに大きな可能性を見出す創造と発見を。

小さなまちに点在する様々な会場をめぐる16日間。
Kunitachi Art Center、第６回目の開催です。

I'm Learning.

リスキリングが注目されAIが日常生活に浸透するいま、学びの意義やあり方は大きく問い直されているのではないでしょうか。学校で勉強する学生に限らず、人生100年時代を生きる一人ひとりが「どのように、何を、成長させたいか」を問い直し、明日の自分がちょっとでも前進している可能性を“まなび”に見出すことができたら――。

1952年に文教地区に指定されて以来、学問の環境を育んできた国立で、いま一度「私がまなぶ」という姿勢に向き合ってみたいと思います。
「Kunitachi Art Center 2025」のテーマは、「I'm Learning.」です。

みどり is Learning.
友だち is Learning.
食べる is Learning.
スポーツ is Learning.
なやむ is Learning.
さんぽ is Learning.
こども is Learning.
Life is Learning.

【関連プログラム】

KAC2025 トーク

今年度のメインテーマとなる「I'm Learning.」についてゲストとともに議論し、考えるトークプログラムを開催します。

参加費：無料
定　員：各回30名（予約不要）
※両日とも会場の混雑状況により入場制限を行う場合がございます。

**1回目［子供とまねる／まなぶ！
アートの体験から考える“I'm Learning.”］**

2025年8月にアーティスト・田中彰さんのレクチャーのもと、小学生が自分の好きな本のブックカバーをつくるワークショップを開催しました。ワークショップを行った田中さん、会場となった国立第三小学校の図工教員・仁平茜さん、くにたち未来共創拠点矢川プラス館長の細田直哉さんをお招きし、小学生がアートを体験する意義や、アートと教育についてお話します。

日程：10月11日（土）
時間：18:30 - 20:00（開場：18:20）
会場：さくらホール（住所：国立市東1-4-6 国立商協ビル2F）
進行：田尾圭一郎（田尾企画編集室）
登壇：田中彰
　　仁平茜（国立市立国立第三小学校 教員）
　　細田直哉（国立市幼児教育センター所長）

**2回目［いつもの暮らしを読み替える！
アートの実装から考える“I'm Learning.”］**

美術館やギャラリーではなくまちの日常に置かれるアートに、私たちはどのような意味を見出すことができるでしょうか。会期中、国立駅南口駅前広場に作品を展示する現代アーティストの6okkenに制作の背景をお聞きし、アートが促す“Learning”について議論を深めます。

日程：10月18日（土）
時間：19:00 - 20:30（開始10分前を目安に会場へお越しください）
会場：旧国立駅舎（住所：国立市東1-1-69）
進行：田尾圭一郎（田尾企画編集室）
登壇：小川楽生／山口みいな（6okken）

作品ガイド「夕暮れの駅前アート鑑賞会」

KAC2025のキュレーターを務める田尾圭一郎が、国立駅南口駅前広場とnonowa no kadoの展示作品を解説します。どんな作品なのか？国立駅前にある意味は？ みんなでゆるりと考えましょう。

参加費：無料
定　員：6名（要予約／先着順）
申　込：公式ウェブサイトをご確認ください。
日　程：10月11日（土）
時　間：17:00 - 17:30
集　合：国立駅南口駅前広場［東側］（住所：国立市東1-1-69）
ファシリテーター：田尾圭一郎（田尾企画編集室）
登　壇：福嶋幸平（Gallery Yukihira）
※定員に空きがある場合のみ、当日受付を行います。
※雨天決行、荒天中止
※中止の場合、開催日前日の18:00までに参加者のメールアドレスへご連絡いたします。

みんなのラーニングゼミ発表会「ぼくとわたしと、あなたの“I'm Learning.”」

**KAC2025のテーマ「I'm Learning.」に合わせてゼミ生を公募し、4ヶ月間にわたり、それぞれの関心のあるテーマについてリサーチするプロジェクト「みんなのラーニングゼミ」を行ってきました。
4人のゼミ生それぞれの発表を通して、みなさん一人ひとりの“I'm Learning.”がどんな佇まいか、考えてみましょう。**

参加費：無料
定　員：30名（予約不要）
※会場の混雑状況により入場制限を行う場合がございます。
日　程：10月18日（土）
時　間：14:00 - 16:00（開始10分前を目安に会場へお越しください）
会　場：旧国立駅舎（住所：国立市東1-1-69）
進　行：田尾圭一郎（田尾企画編集室）
登　壇：「みんなのラーニングゼミ」ゼミ生

KAC2025 ツアー

イベントの開催エリア、南北それぞれをボランティアチームCAST（キャスト）のアテンドで巡ります。

参加費：無料
定　員：各回6名（要予約／先着順）
申　込：公式ウェブサイトをご確認ください。

［北エリアを巡るコース］
日　程：10月12日（日）／ 10月18日（土）
時　間：13:30 - 16:00
集合場所：旧国立駅舎前（住所：国立市東1-1-69）

［南エリアを巡るコース］
日　程：10月19日（日）
時　間：13:30 - 15:30
集合場所：さえき洋品●（てん）（住所：国立市谷保5014-4）

［南エリアを巡るコース・特別編］
11日に行うツアーでは特別編として、ツアーの最終地点となるZEIT-FOTO kunitachiにてZEIT-FOTO kunitachiのクリエイティブディレクターを務める小田川悠さんをファシリテーターとしてお招きし、対話での作品鑑賞・ツアーの振り返りを行います。

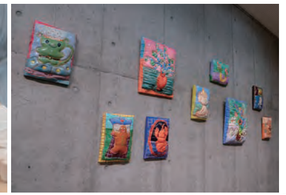
日　程：10月11日（土）
時　間：14:30 - 17:00
集合場所：さえき洋品●（てん）（住所：国立市谷保5014-4）
美術鑑賞ファシリテーター：小田川悠（ZEIT-FOTO kunitachi）
※雨天決行、荒天中止
※中止の場合、開催日前日の18:00までに参加者のメールアドレスへご連絡いたします。

KAC2025　ACKT
各プログラムの詳細やご予約等はACKT、Kunitachi Art Center 2025の公式ウェブサイトをご確認ください。

【ACKT（アクト/アートセンタークニタチ）】
ACKTはまちなかで生まれる多様なプログラムを通して、アーティストや市民・市外の参加者と交流をしながら活動し、共に成長していくためのアートプロジェクトです。「まちを舞台に編まれる芸術と文化」をテーマにしたプログラムやアクションを通じて、新たなまちの価値を生み出していきます。Kunitachi Art Center 2025は、ACKTによるネットワーク形成事業の一環として、企画チーム「Kunitachi Art Center（museum shop T / Gallery Yukihira / 田尾企画編集室）」とともに実施しています。

主催｜東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、国立市、
　　公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団、一般社団法人ACKT
後援｜国分寺市
協力｜立川市、多摩信用金庫、株式会社JR中央線コミュニティデザイン
企画｜Kunitachi Art Center（museum shop T / Gallery Yukihira / 田尾企画編集室）
運営｜一般社団法人ACKT
お問い合わせ｜info@ackt.jp
※各プログラムの内容は変更となる場合がございます。
※当日の記録は、本事業の運営・広報に使用しますので予めご了承ください。
※本事業は「東京アートポイント計画」として実施しています。

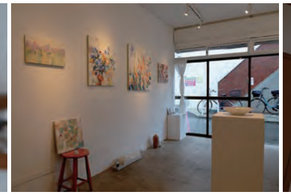
【東京アートポイント計画について】
東京アートポイント計画は、社会に対して新たな価値観や創造的な活動を生み出すためのさまざまな「アートポイント」をつくるために、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京が、地域社会を担う NPOとともに展開している事業です。実験的なアートプロジェクトをはじめて、個人が豊かに生きていくための関係づくりや創造的な活動が生まれる仕組みづくりに取り組んでいます。
https://www.artscouncil-tokyo.jp/regional-cooperation/

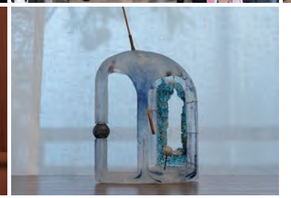


小さなまちに点在する
様々な会場をめぐる16日間

KAC
KUNITACHI ART CENTER

KUNITACHI '25 ART CENTER 10.04 sat ▶ 10.19 sun





小さなまちに点在する
様々な会場をめぐる16日間

東京都　ARTS COUNCIL TOKYO

会期：2025年10月4日（土）～10月19日（日）　会場：国立市周辺エリアの13スペース　参加費：無料（申込不要）　※一部プログラムは要申込

【展示参加作家・スペース】

1 Gallery Yukihira

中野由紀子
「マンション、曇り、シティ／雑草、霞、山並み」
国分寺市日吉町2-15-23-101
12:00–19:00(月～水 休み)
http://www.yukihira.net

2 国立駅南口駅前広場[東側]

6okken
「i'm-air-port」
国立市東1-1-69
常時

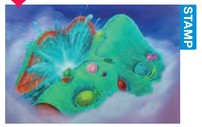
国立駅南口駅前広場[西側]

中島りか
「円を四角にするためのオーディオガイド」
国立市東1-1-69
常時

3 nonowa no kado

福嶋幸平
「Screens」
国立市中1-1-52
nonowa国立SOUTH 1F
常時
※ショーウインドウのため、中には入れません。

4 コート・ギャラリー国立(前半)



影山萌子
「スイート・スイート・ホーム」
国立市中1-8-32　Gallery 2
10/2～10/7 11:00 – 18:00
火のみ 11:00 – 16:00
@courtgallery_kunitachi

コート・ギャラリー国立(後半)

保坂優子
「保坂優子作品展　はじまりの庭」
国立市中1-8-32　Gallery 1
10/16～10/21 11:00 – 18:00
火のみ 11:00 – 16:00
@courtgallery_kunitachi

5 STUDIO322

赤羽佑樹／いしかわみちこ／佐久間茜
「スタディとテスト」
立川市羽衣町2-3-22 1F
土・日・祝のみ 12:00 – 19:00
https://st-322.com

6 Open garage

宮本智之／Soham Gupta (Private collection)
「面／面」
立川市羽衣町2-51-14 B1
木・金 15:00 – 17:00
土 12:00 – 19:00(日～水 休み)
@tomoyukimiyamoto_studio

7 YAHHO～HOUSE

竹沢むつみ／coffee arbre／長沼由梨子／コタニサツキ
「つづき」
国立市谷保4-1-1
10/4・5・10・11・17・19のみ
11:00 – 17:00
@yahho_house

8 Koizumi Studio

田中彰
「小さな木の本と木の家 」
国立市富士見台2-2-5-104
13:00 – 18:00(日・木・10/13 休み)

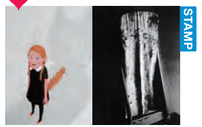
9 soko

田中彰
「小さな木の本と木の家 」
国立市富士見台2-2-34 1F
常時
※ショーウインドウのため、中には入れません。

10 WATERMARK arts and crafts

角谷都恵
「現象の庭」
国立市東2-25-4 2F
12:00 – 18:00
日のみ 12:00 – 17:00(月～水 休み)
@tomoyukimiyamoto_studio

11 ZEIT-FOTO kunitachi



樋口佳絵／須田一政
「かくれんぼ」
国立市中2-22-33
金 15:00 – 20:00
土・日・祝 11:00 – 18:00(月～木 休み)
https://www.zeit-foto.com

12 アートスペース88(前半)

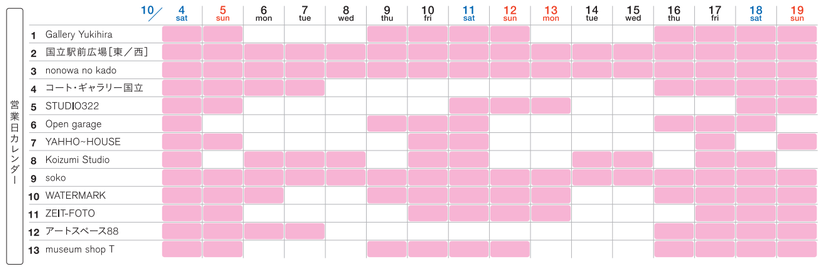
丸山浩明／天野準子
「木と布の二人展」
国立市中1-9-66
10/2～10/7 11:00 – 18:00
火のみ 11:00 – 16:00
@art_space_88

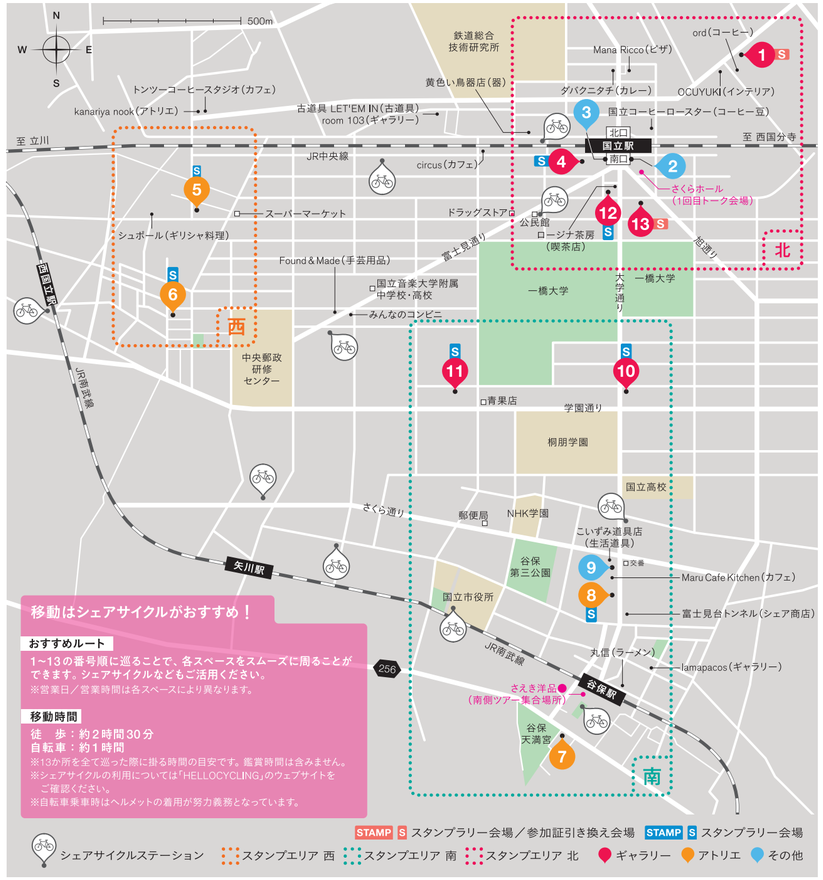
アートスペース88(後半)

持丸有紗
「まばたきの合間をぬって」
国立市中1-9-66
10/16～10/21 11:00 – 18:00
火のみ 11:00 – 17:00
@art_space_88

13 museum shop T

藤田道子
「Find」
国立市東1-15-18 白野ビル3F
13:00～19:00(月～水 休み)
https://t-museumshop.com





【KACキュレーション展示】

国立駅南口駅前広場では「I'm Learning」をテーマに制作された2つの作品を展示します。見慣れた駅前の景色に現れる変化が呼び起こす、新たな気づきや出逢い、ワクワクふわふわした想像――。小さな読み直しの積み重ねは、あなたという主体をどのように変えるのでしょうか？

2 6okken「i'm-air-port」

6okkenの活動は空港のようです。多くの人が「生活と表現」のあり方を探り、6okkenを経由して発着してきました。今回は、彫刻とインテリアのあいだを線のように縫いながら、誰でも座れる場を立ち上げてみます。ここで輸入[im-port]、輸送[trans-port]され、報告[re-port]されるのは、「生活と表現」の「あいだ」そのものです。日々多くの人が行き交う駅に、6okkenの姿が重なります。だから、6okkenはi'm-air-port ／私は空港です、どうぞよろしく。

6okken：山梨県河口湖の6棟の家々を拠点に、生活／表現活動／運営が一体となった「アーティスト・ラン・レジデンス」を運営。"表現と生活"をとりまく環境／状況／条件についての、肩書にとらわれない研究と実践を継続。蓄積された知恵をもとに、日本各地のプロジェクトに参加、世界各国のアート機関と連携、合宿型ワークショップを開発・実施。

2 中島りか「円を四角にするためのオーディオガイド」

国立駅南口の駅前広場に点在する矢印は、かつて歩行者の動線誘導の痕跡として路面に残されています。これらの矢印を起点に、駅前ターミナルの中心に孤島と化した円形公園に同じく痕跡として残された「国旗掲揚塔」を結びつけ、残されながら忘れ去られていく記号や記憶を、作家独自の視点で読み解くオーディオガイドです。

中島りか：1995年愛知県生まれ。東京都、愛知県を拠点に活動。2023年東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科リサーチ領域修了。都市における公／私の二項対立という近代理性的・資本主義的な機制を問題視し、限界性の概念とその非二元的な関係、すなわち公的なものと私的なものの領域の間となる「間」を顕現させるような作品制作を行っている。

【ワークショップ 成果展示】

2025年8月、国立市内の学校と連携して実施したワークショップでアーティスト・田中彰さんのレクチャーのもと、こどもたちが自分自身で選んだ本からイメージをふくらませてオリジナルのブックカバーを版画でつくりました。会期中、こどもたちが制作した作品と、版画作家の作品を一緒に展示します。

8 9 田中彰「小さな木の本と木の家」

ドイツのインゼル文庫に『Das kleine Baumbuch』という本があります。この本の表紙がKoizumi Studioにどことなく似ています。反復された樹木に白い枠のタイトルがあり、その部分が建物の窓と同じ位置にあります。そこから2次元と3次元を往復するような展示イメージが生まれました。

田中彰：1988年岐阜県出身。茨城県を拠点に活動。2015年武蔵野美術大学大学院版画コース修了。木の持つ時間や空間、身近な植物としてのコーヒー豆をリサーチした作品、魚釣りを通したフィールドワークなど、人と自然の間を行き来しながら木版画をベースに制作。版画のプロセスを使ったワークショップも多数行っている。

KAC2025 スタンプラリー

KAC2025の参加スペースを巡るスタンプラリーを開催！
集めたスタンプの数に応じてオリジナルの参加証をお渡しいたします。

［期間］
10月4日(土)～10月19日(日)

［スタンプラリー会場(9か所)］
○北エリア
①Gallery Yukihira ／④コート・ギャラリー国立／⑫アートスペース88 ／⑬museum shop T
○南エリア
⑧Koizumi Studio ／⑩WATERMARK arts and crafts ／⑪ZEIT-FOTO kunitachi
○西エリア
⑤STUDIO322 ／⑥Open garage

［参加証］
- 北・南・西エリアから各1か所(合計3か所以上) KACロゴステッカー
- 北・南・西エリアから各1か所かつ合計5か所以上 KACロゴステッカー ＆ KAC×くにニャンステッカー
- 北・南・西エリアから各1か所かつ合計7か所以上 KACロゴステッカー ＆ KAC×くにニャンステッカー ＆ KAC2025オリジナルトートバッグ

［参加証 引換会場］
①Gallery Yukihira ／⑬museum shop T

※スタンプラリー用の台紙は各スタンプラリー会場で配布しています。
※営業日・営業時間は各スペースにより異なります。
※参加証は数量限定のため、なくなり次第配布を終了します。
※スタンプラリーは会期終了までお楽しみいただけます。